

# 釧路南ロータリークラブ会報

第33回 例会報告 2021.4.9 通算1841回

・点 鐘 奈良会長

・会長挨拶

・ロータリーソング

「我等の生業」



ソングリーダー 川越 直人会員



みなさんこんにちは。先週のプログラム「献血例会」では献血をしていただいたメンバーの皆様ありがとうございました。今まで献血例会を何度も参加して、自分は採血できないこともあり献血の呼びかけをしていましたが、前回の動画を見て改めて献血の大切さを感じ今の自分であればもっと心のこもった呼びかけができるのではないかと考えています。残念ながらイオンでの献血の呼びかけはすることができませんが今後違う形で献血の大切さをアピールできればと考えています。福井委員長ありがとうございました。今週は「母子の健康月間に因んで」となっておりますが、担当の佐野委員長前回から間がない状況でのお願いとなりますが後ほど宜しくお願い致します。

先週分区事業のチャリティーパークゴルフの中止のお知らせを致しましたが、ロータリアンマスターズゴルフ大会も中止とする連絡をいただいております。毎年参加を楽しみにされているメンバーの方には申し訳ありませんが状況が状況ですのでご理解いただければと思います。以上会長挨拶とさせていただきます。

本日も宜しくお願い致します。

・誕生祝

長倉 巨樹彦会員 S36.4.15 (60歳)



## ・幹事報告



- \* 先週の献血例会のご報告をさせていただきます。全て 400 ミリリットルで南クラブから 6 名、ANA ホテルさんから 2 名、通りがかりの方が 1 名で計 9 名となりました。ご協力ありがとうございました。
- \* ガバナー補佐事務所よりご連絡で毎年行われていたパークゴルフ大会とロータリアン・マスターズゴルフ大会はコロナウイルス感染症の影響を踏まえ中止となりました。
- \* 各ロータリークラブ様より 4 月例会プログラムと会報が届いております。

各資料は回覧してしますのでご一読ください。

### ・本日のプログラム

#### 「母子の健康月間に因んで」

担当 ロータリー情報委員会

#### ◆佐野ロータリー情報委員長



2014 年 10 月 RI 理事会は、4 月を重点分野「母子の健康月間」としました。5 歳未満の幼児の死亡率と

罹患率の削減、より多くの母子に対する基本的な医療サービスの提供、保健従事者を対象とした研修、保健ケアの提供、母子の健康に関連した仕事に従事する専門職業人のための奨学金の支援を強調する月間です。

私にも妻と二人の子供がおりますが、育児は妻に任せっぱなしで、今回「母子の健康」ということで、いろいろ勉強になりました。それではロータリーの支援活動を紹介します。

毎年、5 歳未満で命を落とす子供は . . . . .

グローバル補助金の受領資格 . . . . .

日本発だった「母子手帳」 . . . . .

**毎年、5 歳未満で命を落とす子どもは、世界で推定 590 万人。その原因は、栄養失調、適切な医療や衛生設備の欠如など、どれも予防が可能なものばかりです。**

予防可能な原因で母と子どもが命を落とすことなどあってはならないと、私たちロータリー会員は考えます。すべての母子が質の高い医療を受けられるよう、そして、出産で命を落とす母親がいなくなり、子どもがすくすくと成長できるように、私たちは支援活動を行っています。

### ロータリーはこんな活動をしています

教育、予防接種、出産キット、移動クリニックなど、ありとあらゆる方法で母子の健康を推進しています。また、女性を対象に、HIV 母子感染の予防、母乳による授乳、病気の予防に関する教育も行っています。

## 母子の健康における成果

私たちは、地域社会が自力で母子の健康を守っていただけるよう研修と支援を行うことによって、持続可能なかたちで母子の健康を促進しています。

ロータリーによる活動の例：

### 出産前ケアの移動クリニック

ハイチは、西半球で母子の死亡率が最も高い国。この国で、医療ボランティアと助産師が僻地に住む母と子どもに医療ケアを提供できるよう、**医療機器を搭載したジープ**を寄贈しました。

### 可動式がん検診支援

インドにおける、可動式の癌検診機器一式の提供と、認識向上を目的とした研修の実施。

### 産科ろう孔の治療

自宅出産を安全に行うため、ロータリー会員が 300 万ドルを投入して 5 年間の試験的プロジェクトを開始しました。このプロジェクトでは、2005 年以来、産科ろう孔で苦しむ女性たちの尊厳と希望を取り戻すために、当初の目標を 500 人上回る 1500 人の治療を行ってきました。

## 日本発だった「母子手帳」 死亡率低下に寄与、途上国で導入続々

妊婦の産前産後の経過や乳幼児の予防接種状況などを一括で管理する「母子健康手帳」（通称：母子手帳）。この母子手帳、世界で初めて導入したのが日本だということをご存じでしょうか？ 現在、日本の妊産婦・乳幼児死亡率は世界トップクラスの低さで、母子手帳の導入や予防接種の広がりなどが大きく寄与したとみられています。国際協力機構（JICA）によると、1990 年ごろ以降、途上国を中心に 15 か国が母子手帳を制度として本格導入、計 50 か国がなんらかの形で採用してきたといいます。

日本で母子手帳が使われ始めたのは 1948（昭和 23）年のことです。それまでは、戦時中の 1942 年に厚生省（当時）が発令した規定に基づき、妊産婦登録した女性に対して「妊産婦手帳」が交付され、物資の配給などを優先的に受けられるようにしていました。

乳幼児向けには「乳幼児体力手帳」（42～45 年）が配布されていましたが、それぞれは別個のもので、母と子の記録を一冊にまとめた手帳ではありませんでした。

### 「育児書機能」と「記録機能」

戦後、日本では急速な経済発展に伴い、分娩施設が増加や予防接種法の制定など医療環境が整い出産前後の母子の健康が改善されていきました。JICA は、母子手帳単体での効果については「直接の因果関係の検証は困難」としながらも、以下の 2 つの機能が大きな役割を果たしていると説明します。

- (1) 育児書としての機能
- (2) 母子の健康状態を記録する機能

「育児書機能」によって親は妊娠中に気を付けるべき兆候、子どもの病気・成長、子どもの予防接種時期、など育児に関する正しい情報を得られます。そして、「記録機能」によって妊娠出産の経過 or 状況、子どもの発育、予防接種歴などを記録することで、医師にこれまでの健康情報を適切に提供できるようになったのです。

### グローバル補助金の受領資格

#### 母子の健康

ロータリーは、母子の健康を改善し、5 歳未満の幼児の死亡率を減らすための活動と研修を支援します。この分野のプロジェクトは、医療サービスへのアクセスの改善および拡充、医療機器の提供、および医療従事者の研修によって、医療システムを強化します。

## この重点分野の目的と目標

ロータリー財団は、ロータリアンが以下のような活動によって母子の健康を改善するのを支援します。

1. 新生児や赤ちゃんの死亡率の削減。
2. 5歳未満の幼児の死亡率と罹患率の削減。
3. 妊婦の死亡率と罹患率の削減。
4. 基本的な医療サービス、研修を受けた地域社会の医療従事者、および医療提供者へのアクセスの改善。
5. 母子の健康に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための大学院レベルの奨学金支援。

## 受領資格の判断基準

ロータリー財団は、以下の活動を、重点分野「母子の健康」の範囲内にある活動とみなします。

1. 産前産後、および出産時におけるケア。
2. 地域社会における母子のヘルスケアの従事者および医療従事者を対象とする研修、または研修者を養成するための研修。
3. 医療施設に医療機器を提供するプロジェクト。これらの機器は、現在のテクノロジー基準と環境基準（電気、水、大気質）を満たすものでなければならない。また、補助金提唱者は、所有権証明書および管理・維持の計画を提出しなければならない。
4. 医療システムを通じて得られる家族計画とその他の性と生殖に関する健康における介入や公共サービスに関する教育、およびアクセス向上。
5. 女性、思春期の女子、5歳未満の子どものための予防接種。
6. 女性と5歳未満の子どもの対象に、肺炎、下痢、マラリア、はしか、その他の主な病気の原因を予防、治療するための介入。
7. 思春期の人および女性を対象に、性行為による病気の感染を削減し、その影響を緩和するための介入。
8. HIVの母子感染の予防。
9. 母乳を奨励し、栄養失調を予防、緩和、また治療するための行動を奨励するプロジェクト。

10. 救命手術および先天的疾患の手術の提供（ただし、受益者の査定と術後ケアを含むことが条件となる）。
11. 医療施設における医療廃棄物の処理など、感染と病気伝播の封じ込めに関連する環境リスクに取り組むプロジェクト。



講話風景 佐野実会員



昼食 あんかけ焼きそば



## ・次回のプログラム

4月16日（金）

「ゲスト卓話」

会場 ANA クラウンプラザホテル釧路 12:30～

担当：奉仕プロジェクト委員会

・点 鐘 奈良会長

今週の会報担当：佐藤潤会員